

2026

受験番号

--

大学院保健学研究科保健学専攻博士前期課程

大学院パブリックヘルス学環修士課程

小論文問題

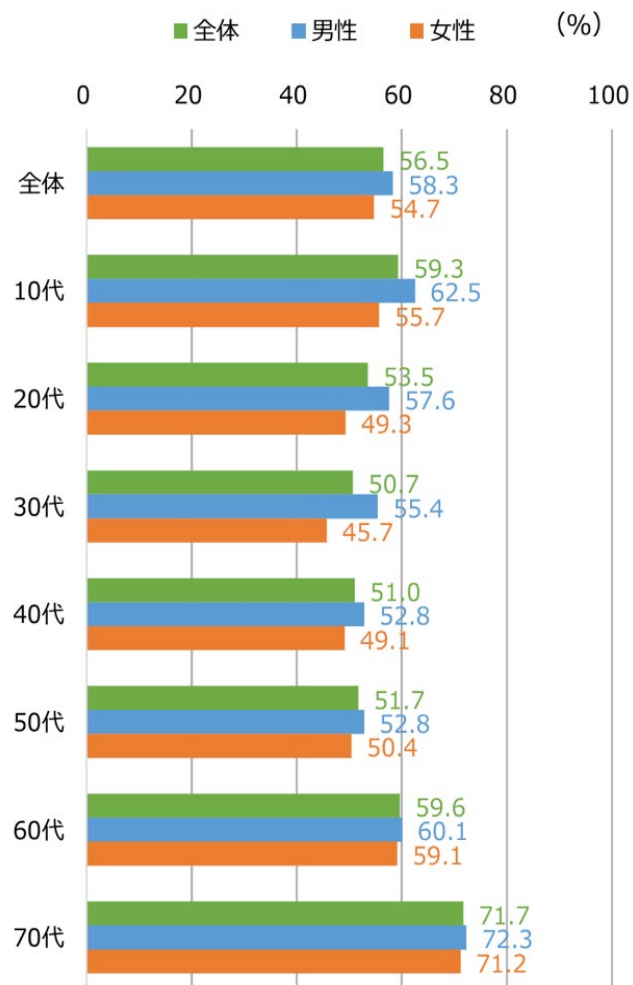
**注 意 事 項**

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないでください。
2. この冊子の本文は4ページです。
3. 解答は解答用紙に書いてください。なお、落丁、乱丁及び印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
4. 解答にあたっては次の点に留意してください。
  - (1) 解答用紙の指定された箇所に書いてください。
  - (2) 文字はわかりやすく、横書きではっきり書いてください。
5. 試験時間は60分です。
6. 答案は持ち帰ってはいけません。
7. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

以下の問1～4に答えなさい。

問1 図1から、世代別週1日以上運動・スポーツ実施率の特徴について、100字以内で述べなさい。

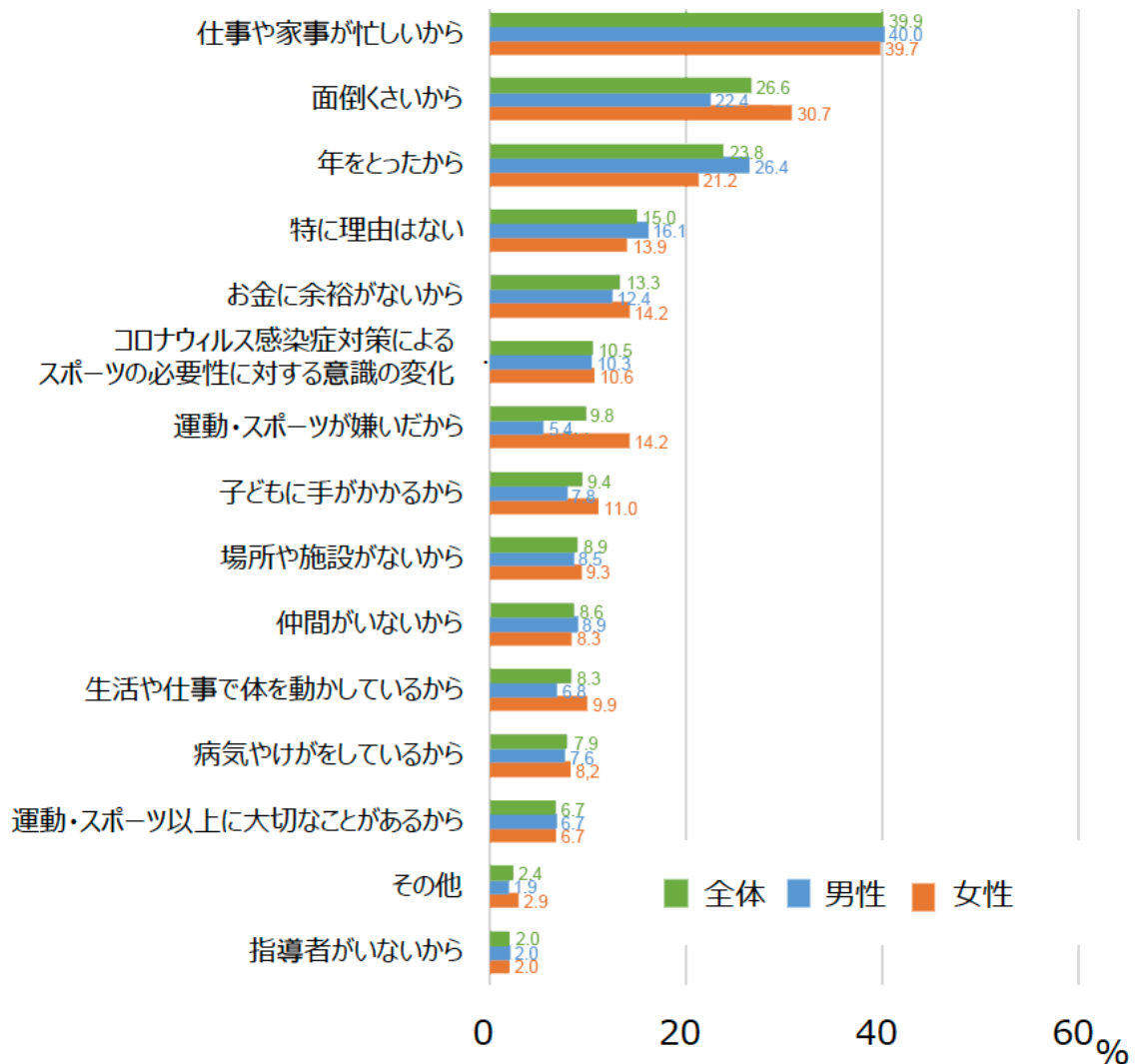
図1 世代別週1日以上運動・スポーツ実施率の比較



出典：スポーツ庁「令和3年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」を一部抜粋・改変（調査対象年齢：18～79歳）

問2 図2から、運動・スポーツの実施頻度が一年前と比較して減ったまたはこれ以上増やせない理由の特徴について、100字以内で述べなさい。

図2 運動・スポーツの実施頻度が減ったまたはこれ以上増やせない理由（複数回答）

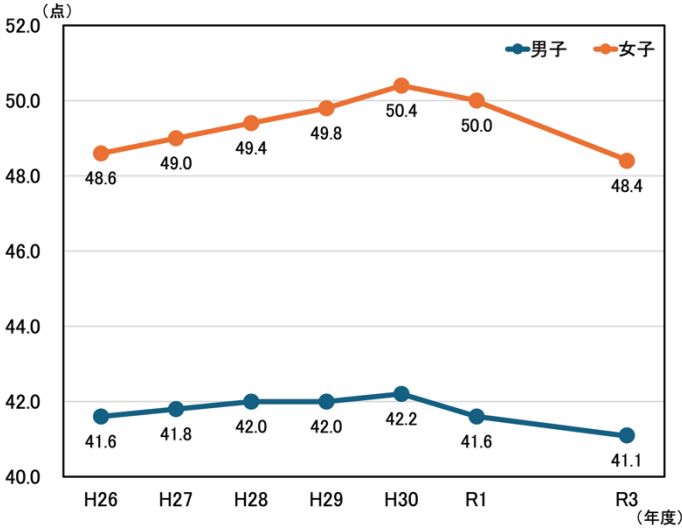


（一年前と比較して運動の実施頻度が減ったまたは変わらないと回答したものが対象）

出典：スポーツ庁「令和3年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」を一部  
抜粋・改変（調査対象年齢：18～79歳）

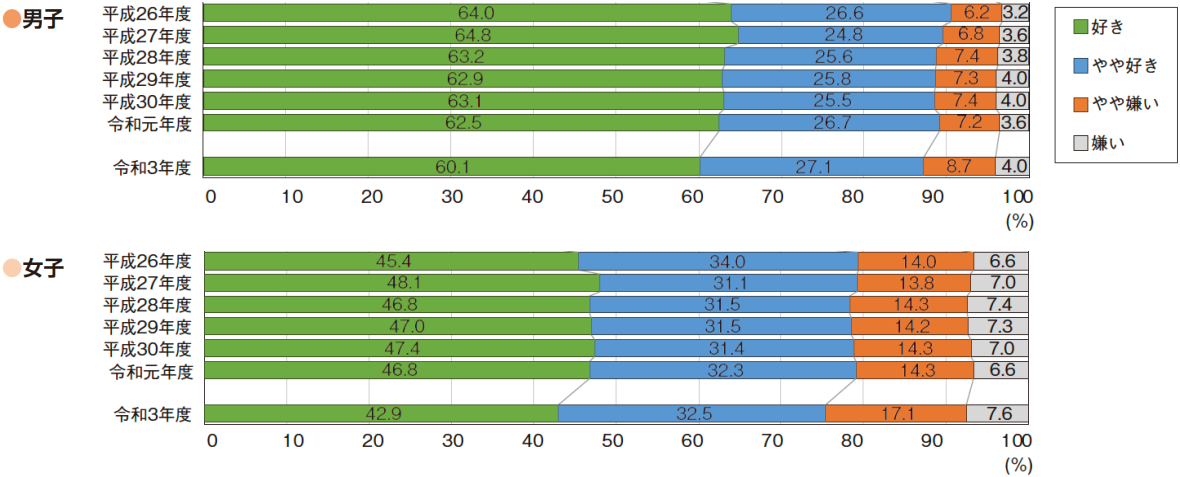
問3 図3～4は、中学生における体力合計点と運動・スポーツの「好き・嫌い」の経年変化を示したものである。これらの図から分かることを100字以内で述べなさい。

図3 中学生における体力合計点の経年変化



【注】男女とも満点は80点だが、得点の評価基準は異なる。  
得点が高いほど体力が優れていることを意味する。

図4 中学生における運動やスポーツをすることが「好き・嫌い」の経年変化



出典：スポーツ庁「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」を一部抜粋・改変

問4 図1～4を踏まえて、運動・スポーツの習慣化と体力向上・健康維持に向けた取り組みについて、あなたの考えを200字以内で述べなさい。